

平成 28 年度
筑波大学大学院
ビジネス科学研究科企業法学専攻
入学試験問題

[小論文]

(2015 年 9 月実施)

[注意事項]

答案用紙は、2 枚使用し、裏面は使用しないこと。

下記文章を読み、問1から問4に答えなさい。

本文については、著作権法により
公表しておりません。

出典 田中英夫=竹内昭夫『法の実現における私人の役割』（東京大学出版会、1987年）5 自力救済からの抜粋。脚注は省いている。

問1 自力救済とは何を意味するのかを答えなさい。

問2 日本法と英米法は、自力救済に対する考え方がどのように異なるのかを答えなさい。

問3 日本法と英米法との自力救済に対する考え方の違いは、どのような理由によると筆者は考えているかを答えなさい。

問4 日本法では不適法とされるが、英米法では適法とされる自力救済の具体的な事例（上記文章中で掲げられた具体的な事例は除く）として、どのようなものが考えられるかを答えなさい。